

# CAMPUS MUSEUM LABO

CAMPUS MUSEUM  
LABO

## パフォーマンスをアーカイヴする

実験的な取り組みを行うCAMPUS MUSEUM LABO、今回は「パフォーマンスをアーカイヴする」と題して、パフォーマンスという一回性のメディアをどのようにアーカイヴしていくのか、アーカイヴできるパフォーマンスとは何かといった問いについて考えます。ゲストは、パフォーマンスをメディアとして表現を重ねてきたアーティストの関川航平さんです。話し手は、本学教員で、パフォーマンスアーカイヴのあり方に関心を寄せる立花由美子です。パフォーマンスやアーカイヴといったトピックに関心を寄せる方々のご参加をお待ちしております。



関川航平（アーティスト）

1990年宮城県生まれ。自身の身体を使った行為やインスタレーション、ドローイング、デザインなどの多岐にわたる手法を用いて作品を制作。「つくること」や「見ること」のなかで何が起きているのかを考え続けている。主な展覧会に「吹けば風」（豊田市美術館、2023年）、「あざみ野コンテンポラリー vol.11 関川航平 今日」（横浜市民ギャラリーあざみ野、2020年）、「THEY DO NOT UNDERSTAND EACH OTHER」（大館當代美術館、香港、2020年）、「開館40周年記念展 トラペラー：まだ見ぬ地を踏むために」（国立国際美術館、2018年）などがある。



立花由美子（本学教員）

1989年生まれ。2014年慶應義塾大学文学研究科美学美術史学専攻修了、2016年ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン修士課程（博物館学）修了。大英博物館での研修を経て帰国後、神奈川県立近代美術館非常勤学芸員を経て、2018年から2021年まで金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター。これまでの主な企画に「一桌多椅 More than one table」（2018年、東アジア文化都市「変容する家」パフォーマンスプログラム）、「私たちの、私たちによる、私たちのための美術館」（2020年）、「コレクション展1 Inner Cosmology」（2021年）、主な論考に「インタープリテーション：「みる」人とつくる展覧会」（『国立新美術館研究紀要』、2018年）など。

場所 静岡大学静岡キャンパス（お申込みされた方に、個別にご案内します。）

主催 静岡大学キャンパスミュージアム

お申し込み・詳細 [https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdhkqBcROAg-nQ8g7NOYrqlR-O\\_-AOglSgrnisWtc82b47Atww/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdhkqBcROAg-nQ8g7NOYrqlR-O_-AOglSgrnisWtc82b47Atww/viewform?usp=sf_link)



2024

3 | 14

木曜日 | THU. 13:00 - 18:00